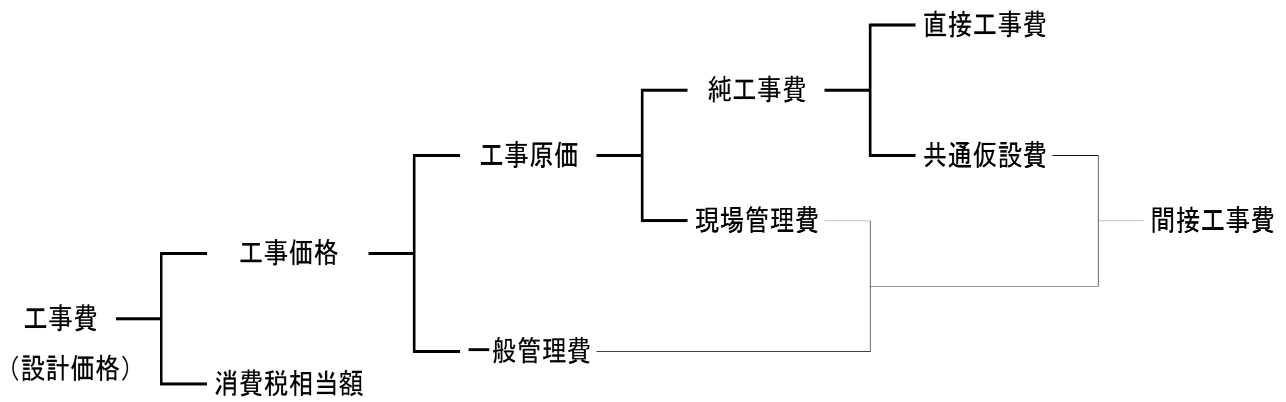
積算内訳書作成要領【端数処理編】

一般的な工事費の構成は次のとおりです。



・直接工事費算定時の端数処理例《**工事以外の場合「直接経費」と読替**》

直接工事費の内訳明細及び別紙明細の金額は単価に数量を乗じて得た金額から円未満を切り捨てた金額を記入する。

【記載例】

品名	数量	単価	金額	備考（摘要）
○○○	33.44	20	668	

・間接工事費算定時の端数処理例《**工事以外の場合「間接経費」と読替**》

一般管理費・現場管理費・共通仮設費等の金額欄は、端数処理をしたときは、端数金額を備考（摘要）欄にマイナス（△）表記すること。

【記載例】

品名	数量	単価	金額	備考（摘要）
一般管理費	33％		1,234,000	△362

＊端数処理を行わず、円未満切捨てで表記可能。

・工事価格算定時の端数処理例《**工事以外の場合「事業費計、税抜」と読替**》

直接工事費（直接経費）と間接工事費（間接経費）の総和の金額を記載する。端数処理をしたときは、端数金額を備考（摘要）欄にマイナス（△）表記すること。

【記載例】

品名	数量	単価	金額	備考（摘要）
直工+共通仮設+現場管理			3,740,491	
一般管理費計			1,234,000	
工事価格			4,974,000	△491

＊端数処理を行わず、円未満切捨てで表記可能。ただし、契約時の消費税相当額を考慮すること。